

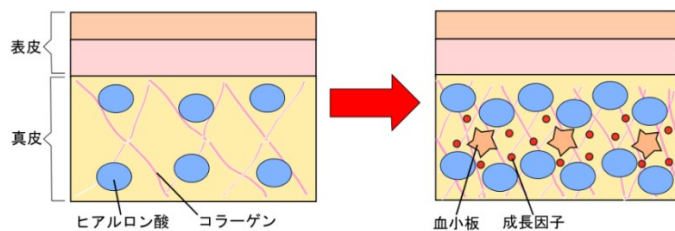
自己多血小板血漿(PRP)を用いた皮膚への再生医療

1. 期待される効果

血小板から分泌される様々な成長因子の働きにより、細胞の増殖、組織の修復、ヒアルロン酸やコラーゲンの生成などの作用が起こり、目の下やその周囲などの小じわ、ちりめんじわ、たるみ、しみ、浅いくぼみへの効果が期待されます。

治療効果はすぐには見られず、治療後1～2週間で効果が顕れます。

図1. 治療の効果(イメージ図)



2. 治療の方法

まず、ご自身の血液を肘の静脈から約11～22mL採取します。

続いて、採取した血液から院内の設備を用いて多血小板血漿を作製します。血小板が濃縮された血漿(白血球も少し含まれています)を抽出します。

最後に、作製した多血小板血漿をお肌のしわやたるみが気になる部位に注射器を用いて注入します。

採血から多血小板血漿の注入まで、1時間程度で完了しますので、1日で治療を受けることが可能です。

3. 起こりうる副作用など

この治療を受けることにより、注入した部分に軽い熱感、赤い腫れ、内出血などが起こり、2～3日程度続く可能性があります。治療は必要なく、時間の経過により解消されます。

4. 他の治療法との比較

皮膚・肌の若返りに対して本治療と近い効果が得られる治療法には、ヒアルロン酸注射などがあります。

ヒアルロン酸注射により、肌にボリュームを出し、しわやくぼみを目立たなくすることができます。ヒアルロン酸注射は本治療と比べて即効性があり、すぐに効果を実感することができます。

しかしながら、ヒアルロン酸注射は人工物を注入することによりくぼみを盛り上げる効果しかなく、肌そのものの若返り効果がありません。また、注入したヒアルロン酸は少しずつ体内に吸収されていきますので、製剤によりますが効果は1～2年程度とされています。

ヒアルロン酸注射を受けることによる危険として、人工物を注入するため、ごくまれにアレルギーが起こる可能性があるほか、血管閉塞がおこる場合があります。

それに対して、本治療は、自分の細胞を用いるためアレルギーの心配はなく、血小板から分泌される成長因子の働きにより、肌そのものの若返り効果があり、人工物を注入しないのでより自然な仕上がりが期待できます。

また、本治療はヒアルロン酸注射よりも効果が長く持続し、個人差がありますが約1～3年間は効果があるとされています。